

評価結果ダイジェスト

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果ダイジェスト

評価結果ダイジェスト

利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

▼全体の評価講評 ▼サービス分析結果 ▼利用者調査結果 ▼事業者のコメント

平成17年度

知的障害者通所更生施設[経過措置]

事業所名称	練馬区立貫井福祉園
評価機関名称	有限責任中間法人 日本福祉サービス評価機構
評価者	修了者No.H0302032 修了者No.H0301059 修了者No.H0302055 修了者No.H0302033
評価実施期間	2006年1月25日～2006年3月31日

評価結果詳細

- 全体の評価講評
- 事業評価結果
 - 組織マネジメント分析結果
 - サービス分析結果
- 利用者調査結果
- 事業者のコメント
- 評点の見方

全体の評価講評

▶ 詳細はこちらから

💡特に良いと思う点

- ・ 利用者の意思と個性を尊重して、利用者が多様な体験ができるように支援している
- ・ 家族との連携を大切にして利用者支援するとともに家族に対する支援にも取り組んでいる
- ・ 地域住民や学校、関係者との協力・連携を進め、地域に開かれた組織として活動している

✓さらなる改善が望まれる点

- ・ 引続き、利用者一人ひとりが能力を十分発揮できるよう活動種目や支援の内容・方法に工夫を
- ・ 職員に求められる「人材像」を目標に、計画的な職員の資質向上・育成に努力を
- ・ 利用者とその家族の声を大切に、新しい状況に対応した計画の策定を

[このページの一番上へ](#)

サービス分析結果

▶ 詳細はこちらから

サービスの実施項目

サービスの実施	評点
1. 個別の支援計画に基づいて自立(自律)生活が営めるよう支援している	A
【講評】 続きを見る	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の障害の状況に合わせて、いろいろな補助・代替コミュニケーション手段を使用し... ・ 自立支援プログラムの時間を設けて、自立生活に必要な情報を提供するとともに利用者同... ・ 対人関係については個別に対応して、アドバイスは連絡帳に書き入れて家族にも伝えるよ... 	
2. 個別の支援計画に基づいて日中活動等に関するさまざまな支援を行っている	A
【講評】 続きを見る	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎日の作業活動、日常生活活動、クラブ活動はそれぞれ数種類のプログラムを用意して、... ・ 利用者の状況に応じて、活動する場所や椅子、自助具などを工夫して活動しやすい環境を... ・ 利用者のニーズに合わせることができるよう、利用者の状況に応じた作業工程をつくる... 	
3. 栄養のバランスを考慮したうえでおいしい食事を楽しく食べられるよう工夫している	A
【講評】 続きを見る	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 給食は業者に委託しているが、嗜好調査を行ない、献立に反映するようにしている。毎週... ・ 食事の形態は常食のほかに利用者の状態に合わせて、きざみ、ペーストなどにして提供し... ・ 利用者の健康状態や体重などにより個別にダイエットメニュー(揚げ物の衣を除いたり、... 	
4. 身の回りの支援に関しては、利用者の立場を考えてサービスを行っている	A
【講評】 続きを見る	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別面談の際に利用者または家族から家庭等での生活状況を聞き取り、一人ひとりの利用... 	

- 補助具を使用して作業や活動をしやすくすることにより、日常生活の中で、利用者が自分...

5. 利用者の健康を維持するための支援を行っている

A

【講評】[続きを見る](#)

- 各科の検診の際には、希望により家族の立会いを受け入れ、医師から直接説明してもら...
- 服薬については、毎年度、個人別に薬の種類等を調査して把握している。昼食時の服薬は...
- 毎朝、看護師が連絡帳の内容をチェックしながら、利用者の体調を見るようにしている。...

6. 利用者の自主性を尊重し、日常生活が楽しく快適になるような取り組みを行っている

A+

【講評】[続きを見る](#)

- 利用者の希望を聞いて、宿泊旅行、個別外出の機会をできるだけ多くつくるようにしてい...
- 利用者の自治会を毎月開催して、日常生活のきまりごとについて話し合ったり、施設の運...

7. 施設と家族等との交流・連携を図っている

A

【講評】[続きを見る](#)

- 家族とは、毎日連絡帳で情報を交換している。また、毎月(除く、8月)家族連絡会を開...
- 家族との連携・交流を大切にしており、福祉工房と合同の園祭り”ぬくぬくフェスティバ...

8. 地域との連携のもとに利用者の生活の幅を広げるための取り組みを行っている

A+

【講評】[続きを見る](#)

- 地域の居宅サービス事業所の情報を収集して、必要に応じて利用者および家族に情報をも...
- 近隣の小学校・中学校から見学・活動参加や園祭り”ぬくぬくフェスティバル”への参加...

評点の内容
▶ 詳細はこちら

[このページの一番上へ](#)

利用者調査結果

▶ [詳細はこちら](#)

有効回答者数/利用者総数
31/34

1. 食事はおいしいですか

はい 31人 どちらともいえない 0人 いいえ 0人 無回答・非該当 0人

2. 他の人に知られたくないことの秘密を守るなど、プライバシーが守られていますか

はい 16人 どちらともいえない 0人 いいえ 1人 無回答・非該当 14人

3. 職員は、丁寧(乱暴な言葉を使ったり、命令したり、呼び捨てにしない)に接してくれますか

はい 31人 どちらともいえない 0人 いいえ 0人 無回答・非該当 0人

4. 職員はみんな同じようにあなたに接してくれますか(人によって言うことが違ったり、すごく厳しい人がいたりしませんか)

はい 31人 どちらともいえない 0人 いいえ 0人 無回答・非該当 0人

5. あなたの気持ちをわかってくれる(相談できる)職員がいますか

はい 23人 どちらともいえない 0人 いいえ 0人 無回答・非該当 8人

6. 困ったことを外の人(第三者委員など)にも相談できますか

はい 13人 どちらともいえない 1人 いいえ 3人 無回答・非該当 14人

7. 活動は楽しいですか

はい 29人 どちらともいえない 0人 いいえ 0人 無回答・非該当 2人

8. あなたの目標や計画について、職員はいっしょに考えわかりやすく説明してくれましたか

はい 29人 どちらともいえない 0人 いいえ 0人 無回答・非該当 2人

9. あなたの目標や計画は、いつもあなたが納得できるものになっていますか

はい 19人 どちらともいえない 2人 いいえ 0人 無回答・非該当 10人

10.【過去1年以内に利用を開始したと答えた方に】利用する前に、施設での生活や支援内容など、知りたいことについてわかりやすい説明がありましたか

はい	6人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

11.【過去1年以内に利用を開始したと答えた方に】施設のサービスなどの考え方を知る機会(説明、掲示など)がありましたか

はい	6人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

12.【過去1年以内に利用を開始したと答えた方に】説明を聞いて、ここに通ってみようと思いましたが

はい	6人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

13.あなたは不満や要望を職員に気軽に話すことができますか

はい	23人	どちらともいえない	0人	いいえ	2人	無回答・非該当	6人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

14.職員は不満や要望に対してきちんと対応してくれていますか

はい	23人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	8人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

[このページの一番上へ](#)

事業者のコメント

*以下の項目は事業者によって、自ら更新される情報です。

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#)

第三者評価については電話03-5206-8750、その他のお問い合わせは[こちらから](#)

[財団法人東京都福祉保健財団](#)

Copyright©2003-2009 Tokyo Metropolitan Foundation of Social Welfare and Public Health. All Rights Reserved.

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 全体の評価講評

全体の評価講評

利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

▼全体の評価講評 ▼コメント

平成17年度

知的障害者通所更生施設[経過措置]

事業所名称	練馬区立貫井福祉園
評価機関名称	有限責任中間法人 日本福祉サービス評価機構
評価者	修了者No.H0302032 修了者No.H0301059 修了者No.H0302055 修了者No.H0302033
評価実施期間	2006年1月25日～2006年3月31日

全体の評価講評

特に良いと思う点

- 利用者の意思と個性を尊重して、利用者が多様な体験ができるように支援している**

利用者はその障害の程度を含めて能力や個性に違いがあるが、「利用者の意思と個性を尊重する」という基本方針に基づいて個別支援計画を作成して支援している。日中活動は作業・生活活動、スポーツ、クラブ活動や外出等いろいろなプログラムがあるが、利用者はそれぞれのプログラムの中で自分の好みや能力に合わせて選択できるように多様な活動が用意されている。利用者一人ひとりが自分で選択することを大切に、常に利用者に関心かけながら援助している。意思表示のむずかしい人は様子を伝えて家族で話し合っ決めてもらっている。
- 家族との連携を大切に利用者支援するとともに家族に対する支援にも取り組んでいる**

家族との連携を大切に、毎日、連絡帳による情報交換を行い、支援にいかしている。また、利用者・家族の意向を積極的にサービスの改善・向上につなげ、支援時間の延長、レスパイトケア、夜8時までの活動日の設定(フライデーナイトスペシャル)、夏休み時期の選択制などを実施して、家族に対する支援も広げている。さらに、地域の居宅サービス事業に関する情報を提供して利用者とその家族の地域での生活がより充実したものになるよう支援している。
- 地域住民や学校、関係者との協力・連携を進め、地域に開かれた組織として活動している**

施設内に地域住民が利用する貫井活動交流室があり、近隣の町会や商店会の代表がその運営に参画するなど地域住民との結びつきが強いのがこの施設の特徴である。近くの公園の花壇の管理を引き受け、利用者の活動の一つとすることが予定されている。また、近隣の小中学校のボランティア体験授業の受け入れや養護学校とのいろいろな協力活動、居宅サービス事業所との連携、施設との交流など地域のいろいろな人々との共同活動に積極的に取り組み、地域に開かれた組織として活動している。

さらなる改善が望まれる点

- 引続き、利用者一人ひとりが能力を十分発揮できるよう活動種目や支援の内容・方法に工夫を**

上で述べたように、日中活動には多様なプログラムを用意し、選択肢を多くして、利用者がいきいきと活動し、生活を楽しむことができるよう努力している。利用者は重度の知的障害・重複障害の人を含めて、その能力や個性の違いが大きいため、利用者一人ひとりの障害特性を的確に把握し、個に応じた適切な支援を行うことが必要である。引続き、利用者一人ひとりが能力を十分に発揮できるよう活動種目を考え、支援の内容・方法を工夫していくことが望まれる。
- 職員に求められる「人材像」を目標に、計画的な職員の資質向上・育成に努力を**

職員の能力開発・育成には積極的に取り組んでいる。そのため、アンケート調査や自己申告、ヒアリングなどを行い、職員の目標や希望を把握して、計画に取り入れるようにしている。今後とも、職員には「人材像」にもあるように、利用者の障害特性を的確に把握し、個に応じた適切な支援を行うことができる専門性と利用者の願いや悩みを親身になって聞き、利用者の意思を支援にいかしていく豊かな人間性が求められよう。非常勤職員を含めて、職員の資質向上・育成を計画的に進めていくことが望まれる。
- 利用者とその家族の声を大切に、新しい状況に対応した計画の策定を**

利用者およびその家族の高齢化への対応に近い将来の課題になることが想定されている。また、障害者自立支援法の施行という新しい事態も生まれている。このような中で、利用者と社会のニーズを的確に把握し、それに応じていくことが求められよう。平成19年度には、指定管理者の更新が予定されているが、これまでの実績をもとに利用者とその家族の声を大切に、新しい状況に対応した計画を策定することが期待される。

コメント

利用者調査については、コミュニケーションの取れる利用者には聞き取りを行い、聞き取りがむずかしい利用者については作業活動や食事の場면을観察して、その状況から調査員が判断して回答を記入するようにした。回答は保護者に見てもらい、チェックしてもらった。事業評価については、経営層および職員の自己評価、事業プロフィールをはじめ事業報告書・事業計画書その他関係資料により現状の分析と問題の整理を行い、訪問調査を実施した。訪問調査では、関連資料等により具体的な裏づけを確認するようにした。

[▲このページのトップへ](#)

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#)

第三者評価については電話03-5206-8750、その他のお問い合わせは[こちらから](#)

[財団法人東京都福祉保健財団](#)

Copyright©2003-2009 Tokyo Metropolitan Foundation of Social Welfare and Public Health. All Rights Reserved.

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 組織マネジメント分析結果

組織マネジメント分析結果

利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

- ▼リーダーシップと意思決定
- ▼経営における社会的責任
- ▼利用者意向や地域・事業環境の把握と活用
- ▼計画の策定と着実な実行
- ▼職員と組織の能力向上
- ▼情報の保護・共有
- ▼カテゴリ1～7に関する活動成果

平成17年度

知的障害者通所更生施設[経過措置]

事業所名称	練馬区立貫井福祉園
評価機関名称	有限責任中間法人 日本福祉サービス評価機構
事業評価実施期間	2006年2月6日～2006年3月31日

リーダーシップと意思決定

1. 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	評点
1. 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している	A
2. 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	A
3. 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情をふまえて意思決定し、その内容を関係者に周知している	A
【講評】 詳細はこちら	
<ul style="list-style-type: none"> 法人および貫井福祉園のミッション(理念)を明確にして職員会議や家族連絡会の場で説... 施設の運営に当っては、理念を方針に具体化して、年度の事業計画を策定している。併設... 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 評点の内容 ▶ 詳細はこちら </div>	

[このページの一番上へ](#)

経営における社会的責任

1. 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる	評点
1. 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している	A
2. 第三者評価の導入・外部監査、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている	A+
3. 将来を担う人材育成として、実習生を受け入れている	A+
2. 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている	評点
1. 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある	A+
2. ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している	A
3. 地域の関係機関との連携を図っている	A
【講評】 詳細はこちら	
<ul style="list-style-type: none"> 法人および貫井福祉園の「ミッション」や年度の事業計画において、福祉サービスに従事... 貫井活動交流室や共有スペースの活用は上記のとおりであるが、活動交流室の運営... ①近隣の小中学校のボランティア体験授業に協力して受け入れを行っているほか、近隣の... 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 評点の内容 ▶ 詳細はこちら </div>	

[このページの一番上へ](#)

利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

1. 利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している	評点
1. 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)	A
2. 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる	A
3. 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している	A
【講評】 詳細はこちら	
<ul style="list-style-type: none"> 利用者にはコミュニケーションのむずかしい人が少なくないが、いろいろな補助・代替コ... 	

- 利用者・家族の意向を積極的にサービスの改善・向上につなげており、これまでに支援時...
- 福祉事業全体の動向については、関連する諸会合や研修会等に積極的に参加して情報を収...

評点の内容
▶ 詳細はこちら

[このページの一番上へ](#)

計画の策定と着実な実行

1. 実践的な課題・計画策定に取り組んでいる	評点
1. 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している	A
2. 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している	A
3. 着実な計画の実行に取り組んでいる	A
2. 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる	評点
1. 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる	A
【講評】 詳細はこちら	
<ul style="list-style-type: none"> ● 年度の事業計画の策定に当っては、職員アンケートにより、施設運営に関して提言を含め... ● 職員個々人の課題は、事業計画に基づく目標の自己申告を行い、施設長の面談・ヒアリン... ● ヒヤリ・ハット事例については、送迎バスの業務を委託している業者を含めて集約して、... 	

評点の内容
▶ 詳細はこちら

[このページの一番上へ](#)

職員と組織の能力向上

1. 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる	評点
1. 事業所にとって必要な人材構成にしている	A
2. 職員の質の向上に取り組んでいる	A
2. 職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる	評点
1. 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる	A
2. 職員のやる気向上に取り組んでいる	A
【講評】 詳細はこちら	
<ul style="list-style-type: none"> ● 職員の人材像や育成の考え方については明示されている。人事考課制度は平成19年度か... ● 研修計画の策定に当っては、職員アンケートにより、本人の目標や希望を集約して、ヒア... 	

評点の内容
▶ 詳細はこちら

[このページの一番上へ](#)

情報の保護・共有

1. 情報の保護・共有に取り組んでいる	評点
1. 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる	A
2. 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨をふまえて保護・共有している	A
【講評】 詳細はこちら	
<ul style="list-style-type: none"> ● 個人情報保護法の施行を契機に、利用者の個人情報を個別のファイルに整理し、管理を厳... ● 利用者の個人情報の取り扱いについては、練馬区の個人情報保護規程に基づいて運用し、... 	

評点の内容
▶ 詳細はこちら

[このページの一番上へ](#)

カテゴリー1～7に関する活動成果

1. 前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している	評点
1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている	A+
【改善の成果】 詳細はこちら	
<ul style="list-style-type: none"> ● ①理念を明確にして、関係者への周知に努めるとともに運営会議を毎週開催して、計画の... 	
2. 前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している	評点
1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分につい	

て、改善を行い成果が上がっている	A
<p>【改善の成果】 詳細はこちら</p> <ul style="list-style-type: none"> 法人や練馬区の主催する研修会をはじめ各種の研修会(福祉施設の職員交換研修を含む)... 	
3. 前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している	評点
1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている	A⁺
<p>【改善の成果】 詳細はこちら</p> <ul style="list-style-type: none"> ①利用者・家族の意向を受けて、支援時間の延長や夏休み時期の選択制を実施するなどサ... 	
4. 前年度と比べ、事業所の財政面において向上している	評点
1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、財務諸表など財務に関する指標において改善傾向を示している	A
<p>【改善の成果】 詳細はこちら</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業計画に基づいて効率的な運営を心がけ、コストの削減に取り組んでいる。 	
5. 前年度と比べ、利用者の意向や苦情対応の面で向上している	評点
1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分や利用者満足状況調査などにおいて改善傾向を示している	A
<p>【改善の成果】 詳細はこちら</p> <ul style="list-style-type: none"> 障害者自立支援法など障害者福祉の動向について情報を収集して対応策検討の素材として... 	
<p>【講評】 詳細はこちら</p> <ul style="list-style-type: none"> 法人および貫井福祉園の理念を明確にして、関係者への周知に努めるとともに運営会議を... 利用者・家族の意向を受けて、支援時間の延長や夏休み時期の選択制を実施するなどサー... 利用者・家族の個人情報の取り扱いについて、練馬区の個人情報保護規程に基づき、適切... 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e0f0e0;"> <p>評点の内容</p> <p>▶ 詳細はこちら</p> </div>

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#)

第三者評価については電話03-5206-8750、その他のお問い合わせは[こちらから](#)

財団法人東京都福祉保健財団

Copyright©2003-2009 Tokyo Metropolitan Foundation of Social Welfare and Public Health. All Rights Reserved.

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > サービス分析結果

サービス分析結果

利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

▼サービス提供のプロセス項目 ▼サービスの実施項目

平成17年度

知的障害者通所更生施設[経過措置]

事業所名称	練馬区立貫井福祉園
評価機関名称	有限責任中間法人 日本福祉サービス評価機構
事業評価実施期間	2006年2月6日～2006年3月31日

サービス提供のプロセス項目

サービス情報の提供	評点
1. 利用者等に対してサービスの情報を提供している	A
<p>【講評】詳細はこちら</p> <ul style="list-style-type: none"> 区立の施設なので、利用者に対する情報提供は練馬区を通じて行っている。貫井福祉園と... 練馬区や各福祉事務所をはじめ関係機関、養護学校に毎年度の事業報告書・事業計画書等... 利用者の見学の要望に対しては随時対応するようにしている。土曜日は第2土曜日、福祉... 	<p>評点の内容</p> <p>▶ 詳細はこちらから</p>
サービスの開始・終了時の対応	評点
1. サービスの開始にあたり利用者等に説明し、同意を得ている	A
2. サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している	A
<p>【講評】詳細はこちら</p> <ul style="list-style-type: none"> サービス提供に関する基本的なルール、重要事項等については「ご利用のしおり」をもと... 利用者・家族の要望や個別事情は、アセスメントシートや個別援助計画の用紙等に記録さ... 利用直後の不安やストレスの軽減や利用前の生活を踏まえた支援のために、入所前に個別... 	<p>評点の内容</p> <p>▶ 詳細はこちらから</p>
個別状況の把握・記録	評点
1. 定められた手順に従ってアセスメントを行い、利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している	A
2. 利用者等の希望と関係者の意見を取り入れた個別の支援計画を作成している	A
3. 利用者に関する記録が行われ、管理体制を確立している	A
4. 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している	A
<p>【講評】詳細はこちら</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者の身体状況や生活状況等はアセスメントシートに記録されている。個別支援計画は... 家族等との間では、日常的に連絡帳で相互に情報を交換している。連絡帳は複写になって... 常勤職員は毎日のミーティングで、①当日の作業の状況、②当日のグループ活動、③医務... 	<p>評点の内容</p> <p>▶ 詳細はこちらから</p>
プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	評点
1. 利用者のプライバシー保護を徹底している	A
2. サービスの実施にあたり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重している	A
<p>【講評】詳細はこちら</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者の個人情報の守秘義務については利用契約書に定めがあり、他機関に照会する場合... 更衣、排泄等の介助は同性介助を基本に行い、利用者の羞恥心に配慮して支援している。 日常の支援にあたっては、利用者一人ひとりの意思を尊重するよう努めており、常に利用... 	<p>評点の内容</p> <p>▶ 詳細はこちらから</p>
事業所業務の標準化	評点
1. 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている	A
2. サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている	A
3. さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している	A
<p>【講評】詳細はこちら</p> <ul style="list-style-type: none"> サービスの基本事項や手順等については手引書があり、日常の支援活動や業務の点検に活... サービスとその手順については、職員との個別面談などを通じて意見や提案を収集すると... 	

- 施設長はじめリーダー層が職場によく目を配っており、職員は上司に気軽に相談できてい...

評点の内容
▶ 詳細はこちらから

[このページの一番上へ](#)

サービスの実施項目

サービスの実施	評点
1. 個別の支援計画に基づいて自立(自律)生活が営めるよう支援している	A
【講評】 詳細はこちら <ul style="list-style-type: none"> ● 利用者の障害の状況に合わせて、いろいろな補助・代替コミュニケーション手段を使用し... ● 自立支援プログラムの時間を設けて、自立生活に必要な情報を提供するとともに利用者同... ● 対人関係については個別に対応して、アドバイスは連絡帳に書き入れて家族にも伝えるよ... 	
2. 個別の支援計画に基づいて日中活動等に関するさまざまな支援を行っている	A
【講評】 詳細はこちら <ul style="list-style-type: none"> ● 毎日の作業活動、日常生活活動、クラブ活動はそれぞれ数種類のプログラムを用意して、... ● 利用者の状況に応じて、活動する場所や椅子、自助具などを工夫して活動しやすい環境を... ● 利用者のニーズに合わせるができるように、利用者の状況に応じた作業工程をつくる... 	
3. 栄養のバランスを考慮したうえでおいしい食事を楽しく食べられるよう工夫している	A
【講評】 詳細はこちら <ul style="list-style-type: none"> ● 給食は業者に委託しているが、嗜好調査を行ない、献立に反映するようにしている。毎週... ● 食事の形態は常食のほか利用者の状態に合わせて、きざみ、ペーストなどにして提供し... ● 利用者の健康状態や体重などにより個別にダイエットメニュー（揚げ物の衣を除いたり、... 	
4. 身の回りの支援に関しては、利用者の立場を考えてサービスを行っている	A
【講評】 詳細はこちら <ul style="list-style-type: none"> ● 個別面談の際に利用者または家族から家庭等での生活状況を聞き取り、一人ひとりの利用... ● 補助具を使用して作業や活動をしやすくすることにより、日常生活の中で、利用者が自分... 	
5. 利用者の健康を維持するための支援を行っている	A
【講評】 詳細はこちら <ul style="list-style-type: none"> ● 各科の検診の際には、希望により家族の立会いを受け入れ、医師から直接説明してもら... ● 服薬については、毎年度、個人別に薬の種類等を調査して把握している。昼食時の服薬は... ● 毎朝、看護師が連絡帳の内容をチェックしながら、利用者の体調を見るようにしている。... 	
6. 利用者の自主性を尊重し、日常生活が楽しく快適になるような取り組みを行っている	A+
【講評】 詳細はこちら <ul style="list-style-type: none"> ● 利用者の希望を聞いて、宿泊旅行、個別外出の機会をできるだけ多くつくるようにしてい... ● 利用者の自治会を毎月開催して、日常生活のきまりごとについて話し合ったり、施設の運... 	
7. 施設と家族等との交流・連携を図っている	A
【講評】 詳細はこちら <ul style="list-style-type: none"> ● 家族とは、毎日連絡帳で情報を交換している。また、毎月（除く、8月）家族連絡会を開... ● 家族との連携・交流を大切にしており、福祉工房と合同の園祭り”ぬくぬくフェスティバ... 	
8. 地域との連携のもとに利用者の生活の幅を広げるための取り組みを行っている	A+
【講評】 詳細はこちら <ul style="list-style-type: none"> ● 地域の居宅サービス事業所の情報を収集して、必要に応じて利用者および家族に情報を提... ● 近隣の小学校・中学校から見学・活動参加や園祭り”ぬくぬくフェスティバル”への参加... 	

評点の内容
▶ 詳細はこちらから

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 利用者調査結果

利用者調査結果

利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

▼調査概要 ▼調査結果全体のコメント ▼調査結果

平成17年度

知的障害者通所更生施設[経過措置]

事業所名称	練馬区立貫井福祉園
評価機関名称	有限責任中間法人 日本福祉サービス評価機構
利用者調査実施期間	2006年3月9日～2006年3月20日

調査概要

- **調査対象**: 貫井福祉園の利用者全員を対象にした。
- **調査方法**: コミュニケーションの取れる利用者には聞き取りを行った。聞き取りがむずかしい利用者については作業活動や食事の場面を観察してその状況から調査員(4人)が判断して回答を記入した。回答は保護者にも見てもらい、チェックして評価機関に郵送してもらった。
- 利用者総数: 34人
- 共通評価項目による調査対象者数: 34人
- 共通評価項目による調査の有効回答者数: 31人
- 利用者総数に対する回答者割合(%): 91.2%
- 調査項目: [共通評価項目](#)

[このページの一番上へ](#)

調査結果全体のコメント

調査方法は上記のとおりである。食事、活動などのサービスについての満足度は高く、職員の対応についても良い評価がされている。設問によっては調査員の判断も難しく、保護者も答えにくい(答られない)ものもあったと思われ、無回答の割合が高いものがある(「プライバシーが守られているか」、「目標や計画は納得できるものか」など)。総合的な感想は「とても良い」が61.3%、「やや良い」が32.2%、両者の合計は93.5%になるので、満足度は極めて高いといえよう。

[このページの一番上へ](#)

調査結果

1.食事はおいしいですか

はい	31人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

2.他の人に知られたくないことの秘密を守るなど、プライバシーが守られていますか

はい	16人	どちらともいえない	0人	いいえ	1人	無回答・非該当	14人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	-----

3.職員は、丁寧(乱暴な言葉を使ったり、命令したり、呼び捨てにしない)に接してくれますか

はい	31人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

4.職員はみんな同じようにあなたに接してくれますか(人によって言うことが違ったり、すごく厳しい人がいたりしませんか)

はい	31人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

5.あなたの気持ちをわかってくれる(相談できる)職員がいますか

はい	23人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	8人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

6.困ったことを外の人(第三者委員など)にも相談できますか

はい	13人	どちらともいえない	0人	いいえ	3人	無回答・非該当	14人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	-----

7.活動は楽しいですか

はい	29人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	2人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

8.あなたの目標や計画について、職員はいっしょに考えわかりやすく説明してくれましたか

はい	29人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	2人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

9.あなたの目標や計画は、いつもあなたが納得できるものになっていますか

はい	19人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	10人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	-----

10.【過去1年以内に利用を開始したと答えた方に】利用する前に、施設での生活や支援内容など、知りたいことについてわかりやすい説明がありましたか

はい	6人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

11.【過去1年以内に利用を開始したと答えた方に】施設のサービスなどの考え方を知る機会(説明、掲示など)がありましたか

はい	6人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

12.【過去1年以内に利用を開始したと答えた方に】説明を聞いて、ここに通ってみようと思いましたが

はい	6人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

13.あなたは不満や要望を職員に気軽に話すことができますか

はい	23人	どちらともいえない	0人	いいえ	2人	無回答・非該当	6人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

14.職員は不満や要望に対してきちんと対応してくれていますか

はい	23人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	8人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

[このページの一番上へ](#)[▲このページのトップへ](#)[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#)第三者評価については電話03-5206-8750、その他のお問い合わせは[こちらから](#)[財団法人東京都福祉保健財団](#)

Copyright©2003-2009 Tokyo Metropolitan Foundation of Social Welfare and Public Health. All Rights Reserved.

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > リーダーシップと意思決定



リーダーシップと意思決定

利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

講評

法人および貴井福祉園のミッション(理念)を明確にして職員会議や家族連絡会の場で説明して、職員、利用者・家族をはじめ関係者に周知するよう取り組んでいる。また、施設内にも掲示して、貴井活動交流室を利用する地域住民等に対しても理解してもらうよう努めている。

施設の運営に当っては、理念を方針に具体化して、年度の事業計画を策定している。併設の福祉工房と合同の運営会議を設置して、施設長を中心に日常の執行に当たっている。重要な案件については、会議や会合等の場を通じて職員や利用者・家族に周知されている。

[このページの一番上へ](#)

1-1-1. 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している

評点	A
標準項目	○ 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している
	○ 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている
	○ 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている
	○ 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど)
A+の取り組み	

1-1-2. 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている

評点	A
標準項目	○ 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている
	○ 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している
A+の取り組み	

1-1-3. 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情をふまえて意思決定し、その内容を関係者に周知している

評点	A
標準項目	○ 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている
	○ 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している
	○ 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > 経営における社会的責任

経営における社会的責任

利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

講評

法人および貴井福祉園の「ミッション」や年度の事業計画において、福祉サービスに従事する者として心がけるべき基本的な視点を明示し、職員の理解が深まるよう取り組んでいる。施設内には職員や利用者がいつでも見ることができるように「職員の援助の基本姿勢」が掲示されている。

貴井活動交流室や共有スペースの活用状況は上記のとおりであるが、活動交流室の運営委員会には地域町会や商店会の代表が参加している。また、地域町会の会合には、毎月、施設長が出席して福祉園の近況や行事について報告するなど地域社会に開かれた組織となるよう取り組んでいる。

①近隣の小中学校のボランティア体験授業に協力して受け入れを行っているほか、近隣の小学校の生徒に対して、施設見学を兼ねて障害についての学習会を年1回開催している。また、練馬区内の小・中・養護学校の研究会に講師を派遣している。②居宅サービス事業所と日常的な連携に努めるとともに近隣の4つの養護学校の支援会などの委員として協力している。

[このページの一番上へ](#)

2-1-1. 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している

評点	A
標準項目	<ul style="list-style-type: none"> 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる
A+の取り組み	

2-1-2. 第三者評価の導入・外部監査、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている

評点	A+
標準項目	<ul style="list-style-type: none"> 第三者評価・外部監査の実施など外部の導入を図り、開かれた組織となるよう取り組んでいる 透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している
A+の取り組み	施設内には地域住民が利用する貴井活動交流室が併設されている。隣接の福祉工房の運営するパン販売コーナーと喫茶コーナーは共有スペースとなっており、地域住民は自由に出入して、利用者と自然に接することにより、相互に地域生活や障害者福祉に対する理解を深めることができるようになっている。そこには展示コーナーも設置され、双方の作品や活動の状況が紹介されている。

2-1-3. 将来を担う人材育成として、実習生を受け入れている

評点	A+
標準項目	<ul style="list-style-type: none"> 実習生の受け入れに対する基本方針・取り組み体制を明確にしている 効果的な実習ができるよう計画的なプログラムを用意している
A+の取り組み	大学へ出向き、学生に実習の前に「障害の理解」、「実習の意義」等についてオリエンテーションを行っている。

2-2-1. 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある

評点	A+
標準項目	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など) 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている
A+の取り組み	併設の福祉工房(知的障害者通所授産施設)と合わせて、年間1,000人を超える見学者(関係機関、福祉施設関係者、学校関係者、学生等)を受け入れている。

2-2-2. ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している

評点	A	
標準項目	<input type="radio"/>	ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している
	<input type="radio"/>	ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)
	<input type="radio"/>	ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている
A+の取り組み		

2-2-3. 地域の関係機関との連携を図っている

評点	A	
標準項目	<input type="radio"/>	地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している
	<input type="radio"/>	地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#)

第三者評価については電話03-5206-8750、その他のお問い合わせは[こちらから](#)

[財団法人東京都福祉保健財団](#)

Copyright©2003-2009 Tokyo Metropolitan Foundation of Social Welfare and Public Health. All Rights Reserved.

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

講評

利用者にはコミュニケーションのむずかしい人が少なくないが、いろいろな補助・代替コミュニケーション手段を活用して利用者の意見・要望等を把握するよう日常的に努力している。苦情解決制度については、家族にも周知するよう努めているほか、年数回、苦情解決委員には利用者の活動の様子を観察してもらったり、相談に対応してもらっている。

利用者・家族の意向を積極的にサービスの改善・向上につなげており、これまでに支援時間の延長、レスパイトケア、夜8時までの活動日の設定、夏休み時期の選択制などの家族支援策を具体化して、利用者・家族から喜ばれている。

福祉事業全体の動向については、関連する諸会合や研修会等に積極的に参加して情報を収集している。今年度は、障害者自立支援法と関連する情報の収集に努め、利用者・家族に対する説明を行っている。

[このページの一番上へ](#)

3-1-1. 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)

評点	A	
標準項目	○	苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者伝えて
	○	利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる
A+の取り組み		

3-1-2. 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる

評点	A	
標準項目	○	利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる
	○	事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している
	○	利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる
A+の取り組み		

3-1-3. 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している

評点	A	
標準項目	○	地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる
	○	福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる
	○	事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評価の見方

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > 計画の策定と着実な実行

計画の策定と着実な実行

利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

講評

年度の事業計画の策定に当たっては、職員アンケートにより、施設運営に関して提言を含めて意見を集約して、現場の意向を反映するよう努めている。短期の活動については、例えば、利用者の班ごとの活動については、毎週担当者が計画を作成して、確認した上で実施している。

職員個々人の課題は、事業計画に基づく目標の自己申告を行い、施設長の面談・ヒアリングを経て設定されている。面談・ヒアリングは半期ごとに行われて、必要に応じて調整されている。

ヒヤリ・ハット事例については、送迎バスの業務を委託している業者を含めて集約して、予防・再発防止に役立てるよう努めている。リフトなどの援助機器を安全に使用するために日常的なメンテナンスを確実に実施している。

[このページの一番上へ](#)

4-1-1. 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している

評点	A
標準項目	<ul style="list-style-type: none"> ○ 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している ○ 年度単位の計画を策定している ○ 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる
A+の取り組み	

4-1-2. 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している

評点	A
標準項目	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている ○ 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている ○ 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)をふまえて策定している ○ 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)をふまえて策定している
A+の取り組み	

4-1-3. 着実な計画の実行に取り組んでいる

評点	A
標準項目	<ul style="list-style-type: none"> ○ 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している ○ 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にするなどの取り組みを行っている ○ 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している ○ 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる
A+の取り組み	

4-2-1. 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点	A
標準項目	<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している ○ 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している ○ 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > 職員と組織の能力向上



職員と組織の能力向上

利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

講評

職員の人材像や育成の考え方については明示されている。人事考課制度は平成19年度から導入する計画で、現在、そのための試行を行っている。

研修計画の策定に当たっては、職員アンケートにより、本人の目標や希望を集約して、ヒアリングを行い確定するようにしている。外部の研修は法人の実施する職層別研修会や練馬区の主催する研修会を中心に各種の研修会に積極的に参加している。福祉施設との職員交換研修も行っている。研修の成果の共有化のために、朝会での報告やレポートの閲覧等を行っている。

[このページの一番上へ](#)

5-1-1. 事業所にとって必要な人材構成にしている

評点	A
標準項目	<input type="radio"/> 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している
	<input type="radio"/> 事業所が必要とする人材をふまえた採用を行っている
	<input type="radio"/> 適材適所の人員配置に取り組んでいる
A+の取り組み	

5-1-2. 職員の質の向上に取り組んでいる

評点	A
標準項目	<input type="radio"/> 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している
	<input type="radio"/> 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している
	<input type="radio"/> 個人別の育成(研修)計画をふまえ、OJTや研修を行っている
	<input type="radio"/> 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している
	<input type="radio"/> 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している
A+の取り組み	

5-2-1. 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点	A
標準項目	<input type="radio"/> 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している
	<input type="radio"/> 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる
	<input type="radio"/> 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる
A+の取り組み	

5-2-2. 職員のやる気向上に取り組んでいる

評点	A
標準項目	<input type="radio"/> 事業所の特性をふまえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている
	<input type="radio"/> 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる
	<input type="radio"/> 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる
	<input type="radio"/> 福利厚生制度の充実に取り組んでいる
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#)

第三者評価については電話03-5206-8750、その他のお問い合わせは[こちらから](#)

[財団法人東京都福祉保健財団](#)

Copyright©2003-2009 Tokyo Metropolitan Foundation of Social Welfare and Public Health. All Rights Reserved.

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > 情報の保護・共有



情報の保護・共有



利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

講評

個人情報保護法の施行を契機に、利用者の個人情報を個別のファイルに整理し、管理を厳密に行うようになっている。

利用者の個人情報の取り扱いについては、練馬区の個人情報保護規程に基づいて運用し、利用目的や開示請求への対応方法を明示している。

[このページの一番上へ](#)

7-1-1. 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる

評点	A
標準項目	<input type="radio"/> 情報の重要性や機密性をふまえ、アクセス権限を設定している
	<input type="radio"/> 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している
	<input type="radio"/> 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している
A+の取り組み	

7-1-2. 個人情報は、「個人情報保護法」の趣旨をふまえて保護・共有している

評点	A
標準項目	<input type="radio"/> 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している
	<input type="radio"/> 個人情報の保護に関する規定を明示している
	<input type="radio"/> 開示請求に対する対応方法を明示している
	<input type="radio"/> 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > カテゴリー1～7に関する活動成果



カテゴリー1～7に関する活動成果

利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

講評

法人および貫井福祉園の理念を明確にして、関係者への周知に努めるとともに運営会議を毎週開催して計画の実施状況を点検し、着実な執行に努めている。

利用者・家族の意向を受けて、支援時間の延長や夏休み時期の選択制を実施するなどサービスの改善に努めている。

利用者・家族の個人情報の取り扱いについて、練馬区の個人情報保護規程に基づき、適切な運用を行っている。

[このページの一番上へ](#)

8-1-1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」
- ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」
- ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」

評点	A ⁺
改善の成果	①理念を明確にして、関係者への周知に努めるとともに運営会議を毎週開催して、計画の実施状況を点検し、着実な執行に努めている。②福祉施設としての役割を発揮し、地域に開かれた組織として活動に取り組んでいる。

[このページの一番上へ](#)

8-2-1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」

評点	A
改善の成果	法人や練馬区の主催する研修会をはじめ各種の研修会(福祉施設の職員交換研修を含む)に積極的に参加し、職員と組織の能力向上に取り組んでいる。

[このページの一番上へ](#)

8-3-1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」
- ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」

評点	A ⁺
改善の成果	①利用者・家族の意向を受けて、支援時間の延長や夏休み時期の選択制を実施するなどサービスの向上に努めている。②個人情報の保護について、練馬区の規程に基づいて適切に運用している。

[このページの一番上へ](#)

8-4-1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、財務諸表など財務に関する指標において改善傾向を示している

評点	A
改善の成果	事業計画に基づいて効率的な運営を心がけ、コストの削減に取り組んでいる。

[このページの一番上へ](#)

8-5-1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分や利用者満足状況調査などにおいて改善傾向を示している

・カテゴリ3:「利用者意識や地域・事業環境などの把握」

評点	A
改善の成果	障害者自立支援法など障害者福祉の動向について情報を収集して対応策検討の素材としている。

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#)

第三者評価については電話03-5206-8750、その他のお問い合わせは[こちらから](#)

[財団法人東京都福祉保健財団](#)

Copyright©2003-2009 Tokyo Metropolitan Foundation of Social Welfare and Public Health. All Rights Reserved.

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > サービス情報の提供



サービス情報の提供



利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

講評

区立の施設なので、利用者に対する情報提供は練馬区を通じて行っている。貫井福祉園としてはパンフレットのほかに「ご利用のしおり」(重要事項説明書)を用意して、利用者提供している。

練馬区や各福祉事務所をはじめ関係機関、養護学校に毎年度の事業報告書・事業計画書等の資料を配布して、情報を提供している。

利用者の見学の見学希望に対しては随時対応するようにしている。土曜日は第2土曜日、福祉工房の”ぬくぬくサタデー”の日に合わせて受け入れている。

[このページの一番上へ](#)

1-1. 利用者等に対してサービスの情報を提供している

評点	A
標準項目	○ 利用者が入手できる媒体で、利用者に事業所の情報を提供している
	○ 利用者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている
	○ 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している
	○ 利用者の問い合わせや見学(可能な場合)の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > サービスの開始・終了時の対応



サービスの開始・終了時の対応

利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

講評

サービス提供に関する基本的なルール、重要事項等については「ご利用のしおり」をもとに説明し、日常的なサービスや利用者負担等に関しては利用者の状況に応じて説明し、同意を得ている。

利用者・家族の要望や個別事情は、アセスメントシートや個別援助計画の用紙等に記録され、把握されている。

利用直後の不安やストレスの軽減や利用前の生活を踏まえた支援のために、入所前に個別面談を行うとともに関係機関(学校など)と引継ぎを行い、必要に応じて、入所前に利用者が所属しているところ(学校など)を訪問して、行動観察を行っている。

[このページの一番上へ](#)

2-1. サービスの開始にあたり利用者等に説明し、同意を得ている

評点	A
標準項目	○ サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を利用者の状況に応じて説明している
	○ サービス内容や利用者負担金等について、利用者の同意を得るようにしている
	○ サービスに関する説明の際に、利用者や家族等の意向を確認し、記録化している
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

2-2. サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している

評点	A
標準項目	○ サービス開始時に、利用者の支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している
	○ 利用開始直後には、利用者の不安やストレスを軽減するよう配慮している
	○ サービス利用前の生活をふまえた支援をしている
	○ サービスの終了時には、利用者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > 個別状況の把握・記録



個別状況の把握・記録



利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

講評

利用者の身体状況や生活状況等はアセスメントシートに記録されている。個別支援計画は本人、家族、担当職員(複数)によって年2回見直しが行われている。見直しは、利用者の状況等必要により行われる場合もある。

家族等との間では、日常的に連絡帳で相互に情報を交換している。連絡帳は複写になっていて毎日のことが記録として残され、個別支援計画の作成に役立てられている。

常勤職員は毎日のミーティングで、①当日の作業の状況、②当日のグループ活動、③医務、④特記事項、⑤その日の反省等を話し合い、情報を共有化している。その内容は「援助日誌」にまとめられ、ミーティングに参加できない非常勤職員は翌朝、この日誌を見て情報が得られるようにしている。

[このページの一番上へ](#)

3-1. 定められた手順に従ってアセスメントを行い、利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点	A
標準項目	○ 利用者の身体状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し、把握している
	○ 利用者一人ひとりのニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している
	○ アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

3-2. 利用者等の希望と関係者の意見を取り入れた個別の支援計画を作成している

評点	A
標準項目	○ 計画は、利用者の希望を尊重して作成、見直しをしている
	○ 計画を利用者にわかりやすく説明し、同意を得ている
	○ 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直ししている
	○ 計画を緊急に変更する場合のしきみを整備している
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

3-3. 利用者に関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点	A
標準項目	○ 利用者一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしきみがある
	○ 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果利用者の状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

3-4. 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点	A
標準項目	○ 計画の内容や個人の記録を、関係する職員すべてが共有し、活用している
	○ 申し送り・引継ぎ等により、利用者に変化があった場合の情報を職員間で共有化している

[▲このページのトップへ](#)

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#)

第三者評価については電話03-5206-8750、その他のお問い合わせは[こちらから](#)

[財団法人東京都福祉保健財団](#)

Copyright©2003-2009 Tokyo Metropolitan Foundation of Social Welfare and Public Health. All Rights Reserved.

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重



プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

講評

利用者の個人情報の守秘義務については利用契約書に定めがあり、他機関に照会する場合は、利用者や家族に諒解を得た上で実施している。

更衣、排泄等の介助は同性介助を基本に行い、利用者の羞恥心に配慮して支援している。

日常の支援にあたっては、利用者一人ひとりの意思を尊重するよう努めており、常に利用者に関わらせて、その意思を確認してから実施するようにしている。

[このページの一番上へ](#)

5-1. 利用者のプライバシー保護を徹底している

評点	A
標準項目	○ 利用者について他機関へ照会する際、利用者の承諾を得るようにしている
	○ 日常の支援の中で、利用者のプライバシーに配慮している
	○ 利用者の羞恥心に配慮した支援を行っている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

5-2. サービスの実施にあたり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重している

評点	A
標準項目	○ 日常の支援にあたっては、個人の意思を尊重している(利用者が「ノー」と言える機会を設けている)
	○ 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している
	○ 虐待被害にあった利用者がある場合には、必要に応じて関係機関と連携しながら対応する体制を整えている
	○ 利用者一人ひとりの価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

[評価結果ダイジェスト](#)
[評価結果詳細](#)
[全体の評価講評](#)
[事業評価結果](#)
[組織マネジメント分析結果](#)
[サービス分析結果](#)
[利用者調査結果](#)
[事業者のコメント](#)
[評点の見方](#)

福祉サービス第三者評価情報 > [評価結果検索](#) > [評価結果一覧](#) > [評価結果詳細](#) > 事業所業務の標準化



事業所業務の標準化

利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

講評

サービスの基本事項や手順等については手引書があり、日常の支援活動や業務の点検に活用されている。

サービスとその手順については、職員との個別面談などを通じて意見や提案を収集するとともに日々の支援会議の中で優れた事例を取り上げて、園全体のサービスの向上につなげるようにしている。

施設長はじめリーダー層が職場によく目を配っており、職員は上司に気軽に相談できているようである。

[このページの一番上へ](#)

6-1. 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点	A
標準項目	<input type="radio"/> 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている
	<input type="radio"/> 手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている
	<input type="radio"/> 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している
	<input type="radio"/> 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

6-2. サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点	A
標準項目	<input type="radio"/> 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている
	<input type="radio"/> 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や利用者等からの意見や提案を反映するようにしている
	<input type="radio"/> 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

6-3. さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点	A
標準項目	<input type="radio"/> 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている
	<input type="radio"/> 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している
	<input type="radio"/> 職員全員が、利用者の安全性に配慮した支援ができるようにしている
	<input type="radio"/> 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している
	<input type="radio"/> 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

福祉サービス第三者評価情報 > [評価結果検索](#) > [評価結果一覧](#) > [評価結果詳細](#) > サービスの実施



サービスの実施



利用者調査と事業評価(組織マネジメント項目・サービス項目)の評価手法

1. 個別の支援計画に基づいて自立(自律)生活が営めるよう支援している

講評

利用者の障害の状況に合わせて、いろいろな補助・代替コミュニケーション手段を使用して、利用者のコミュニケーション能力と意欲を育てながら、コミュニケーションを取るよう努めている。

自立支援プログラムの時間を設けて、自立生活に必要な情報を提供するとともに利用者同士で話し合う時間をつくっている。

対人関係については個別に対応して、アドバイスは連絡帳に書き入れて家族にも伝えるようにしている。

評点	A	
標準項目	<input type="radio"/>	個別の支援計画に基づいて支援を行っている
	<input type="radio"/>	利用者の特性に応じて、コミュニケーションのとり方を工夫している
	<input type="radio"/>	自立生活に必要なさまざまな情報を提供している
	<input type="radio"/>	必要に応じて対人関係のアドバイス等を行っている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

2. 個別の支援計画に基づいて日中活動等に関するさまざまな支援を行っている

講評

毎日の作業活動、日常生活活動、クラブ活動はそれぞれ数種類のプログラムを用意して、利用者が選択できるようにしている。自分で選択の意思表示がむずかしい利用者については、その時の様子を家族に伝え、家族に判断してもらっている。

利用者の状況に応じて、活動する場所や椅子、自具などを工夫して活動しやすい環境をつくるよう努めている。

利用者のニーズに合わせることができるよう、利用者の状況に応じた作業工程をつくるよう心がけている。また、利用者の要望をできるだけ受け入れて、その人らしい活動ができるように支援している。

評点	A	
標準項目	<input type="radio"/>	日中活動メニュー等は、利用者の希望や特性により選択できるようにしている
	<input type="radio"/>	利用者が活動しやすい環境を整えている
	<input type="radio"/>	利用者一人ひとりのニーズに応じたその人らしさが発揮できる活動を用意している
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

3. 栄養のバランスを考慮したうえでおいしい食事を楽しく食べられるよう工夫している

講評

給食は業者に委託しているが、嗜好調査を行ない、献立に反映するようにしている。毎週金曜日にご飯またはパンを選択できるようにしている。

食事の形態は常食のほか利用者の状態に合わせて、きざみ、ペーストなどにして提供している。また、食事する

席を指定して、それぞれのペースで無理なく食べられるように配慮している。

利用者の健康状態や体重などにより個別にダイエットメニュー（揚げ物の衣を除いたり、カロリーを制限するなど）の食事を提供している。また、食物アレルギーにも配慮して対応している。

評点	A
標準項目	○ 利用者の希望や職員の意見を反映し、バラエティーに富んだ飽きのこない食事を提供している
	○ 利用者の状態やペースに合わせて食事がとれるよう、必要な支援を行っている
	○ 食事時間が楽しいひとときとなるよう環境を整えている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

4. 身の回りの支援に関しては、利用者の立場を考えてサービスを行っている

講評

個別面談の際に利用者または家族から家庭等での生活状況を聞き取り、一人ひとりの利用者が必要としているサービスを提供するよう努めている。具体例としては、シャワー、理美容（月1回、ボランティアによる整髪、有料）、通院援助（職員の付き添い）などの支援を行っている。

補助具を使用して作業や活動をしやすくすることにより、日常生活の中で、利用者が自分でできることが多くなるように支援している。

評点	A
標準項目	○ 利用者の状態やペースに合わせて、日常生活上の必要な支援を行っている
	○ 必要に応じて、身の回りのことは自分で行えるよう働きかけている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

5. 利用者の健康を維持するための支援を行っている

講評

各科の検診の際には、希望により家族の立会いを受け入れ、医師から直接説明してもらうようにしている。日常的には、看護師が通院や服薬等について助言や支援を行っている。

服薬については、毎年度、個人別に薬の種類等を調査して把握している。昼食時の服薬は担当職員がチェックし、服薬管理者（看護師）がその結果を集約している。宿泊旅行の際には、その間の服薬のチェック表を作成して、職員がチェックできるようにしている。

毎朝、看護師が連絡帳の内容をチェックしながら、利用者の体調を見るようにしている。また、発作などの緊急時には速やかに対応できるようにチャートがまとめられている。

評点	A
標準項目	○ 健康状態に関して、利用者の相談に応じ、必要に応じて利用者や家族に説明をしている
	○ 必要に応じて、通院や服薬等に対する助言や支援を行っている
	○ 服薬管理は誤りがないようチェック体制を整えている
	○ 利用者の体調変化（発作等の急変を含む）に速やかに対応できる体制を整えている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

6. 利用者の自主性を尊重し、日常生活が楽しく快適になるような取り組みを行っている

講評

利用者の希望を聞いて、宿泊旅行、個別外出の機会をできるだけ多くつくるようにしている。

利用者の自治会を毎月開催して、日常生活のきまりごとについて話し合ったり、施設の運営に意見がいえるように支援している。行事やイベントについても自治会で意見を聞くようにしている。

評点	A ⁺
標準項目	○ 行事やレクリエーションのプログラムは、利用者の特性や嗜好を考慮し、多様な体験ができるようにしている
	○ 室内は、採光、換気、清潔性など居心地のよい環境となるようにしている
	○ 日常生活に関するきまりごとについては、利用者等の意見を参考に見直しをしている
	○ 利用者等が意見を言う機会があり、その意見等を施設運営に反映できるようなしくみを整えている
	○ 行事やイベントの企画・準備は利用者も参加して行っている
A+の取り組み	・年2回、「フライデーナイトスペシャル」を実施して、夜間に外出する機会をつくり、利用者の体験の幅を広げている。

[このページの一番上へ](#)

7. 施設と家族等との交流・連携を図っている

講評

家族とは、毎日連絡帳で情報を交換している。また、毎月（除く、8月）家族連絡会を開催して、5月には給食の試食会、4月と7月には活動公開を合わせて実施している。活動公開の際には、援助を担当している職員が利用者を交えて家族と話し合う機会をつくっている。また、家族連絡会の折に施設の状況や障害者福祉の動向等についても報告している。

家族との連携・交流を大切にしており、福祉工房と合同の園祭り”ぬくぬくフェスティバル”を家族会と一緒に開催している。

評点	A
標準項目	○ 家族等との交流・連携に際して、利用者本人の意思を確認し、その意向に基づいた対応をしている
	○ 利用者の日常の様子や施設の現況を家族等へ知らせる手段を整えている
	○ 必要に応じて、家族等への情報提供や支援をしている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

8. 地域との連携のもとに利用者の生活の幅を広げるための取り組みを行っている

講評

地域の居宅サービス事業所の情報を収集して、必要に応じて利用者および家族に情報を提供している。

近隣の小学校・中学校から見学・活動参加や園祭り”ぬくぬくフェスティバル”への参加を受け入れるとともに利用者が学校を訪問して交流している。

評点	A ⁺
標準項目	○ 地域の情報を収集し、利用者の状況に応じて提供している
	○ 必要に応じて、利用者が地域の資源を利用し、多様な体験ができるよう支援している
A+の取り組み	・施設の中に地域の人々が利用できる「活動交流室」があるので、毎日、地域の人々が入り出していて、自然に利用者とは触れ合うことができる環境にある。また、近くの公園の花壇の管理を任せられることになっている。

[このページの一番上へ](#)

[▲このページのトップへ](#)

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#)

第三者評価については電話03-5206-8750、その他のお問い合わせは[こちらから](#)

[財団法人東京都福祉保健財団](#)

Copyright©2003-2009 Tokyo Metropolitan Foundation of Social Welfare and Public Health. All Rights Reserved.